

モンゴルの電力事情

モンゴル国の電力系統は、中央、西部、東部の3つの電力系統から構成され、以下のような特徴があります。

中央電力系統：発電設備、電力需要の約95%が集中

西部電力系統：系統に接続された発電設備がなく、全量をロシアより輸入

東部電力系統：石炭火力発電所により、電力需要に対応



モンゴル国の電力系統

発電設備の約91%は、石炭火力発電所であり、電力系統に接続されていますが、残り9%のディーゼル、水力は電力系統に接続せずに運用されているものがほとんどです。

モンゴル国における発電設備容量(2005年時点)

	設備容量	備考
石炭火力	828.3MW	中央電力系統:792.3MW、東部電力系統:36.0MW
ディーゼル	78.9MW	主に系統に接続していない地方部で活用
水力	3.5MW	主に系統に接続していない地方部で活用
合計	910.7MW	